

田根小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調査場所名(No.)		高山キャンプ場	No.1	田根小学校運動場西側	No.2	No.3									
月	日	時刻	5月11日	9時00分	6月18日	15時00分									
天		気	晴れ		晴れ										
水温	(°C)		15.0 °C		24.5 °C										
気温	(°C)		19.0 °C		26.1 °C										
川幅	(m)		5.0 m		1.0 m										
河川名			草野川		田根川										
生物を採取した場所			川の中央		川の中央										
水深	(cm)		20.0 cm		26.0 cm										
流速	(cm / s)		未測定		30.0 cm/s										
水のようす	指標生物														
きれい	1	カワゲラ類	●												
	2	ナガレトビケラ・ヤマトイケラ クロツツビケラ類	○		○										
	3	ヒラタカゲロウ類	○												
	4	ブユ類	○												
	5	ヘビトンボ類	○												
	6	カガンホ類	○												
	7	サワガニ	○		●										
I・II共通	8	ウズムシ類			○										
	9	2以外のトビケラ類			○										
	10	3、14以外のかげロウ類			●										
少しきれい	11	ヒラタドロムシ類													
	12	シジミ類			○										
II・III共通	13	カワニナ			○										
よごれています	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類			○										
	16	ミズムシ			○										
	17	モノアラガイ													
III・IV共通	18	サカマキガイ													
大変よごれています	19	赤いユスリカ			○										
	20	イトミミズ類			○										
	21	ハナアブ類													
水質判定表	水のようすの区分			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の種類の計(O+●)	7					5	5	3	2				
	2	みつかった指標生物のうち一番数の多くあった種類(●)	1					2	1						
	合計(1欄+2欄)		8					7	6	3	2				
	判定結果(合計が最も大きい区分)			I				I							

調査考察、活動内容等

1 田根小学校のまわりの環境

田根小学校では、4年生の総合的な学習「田根の自然」というテーマのもと、水生生物調査に取り組みました。

田根学区は、周りを山に囲まれています。

学校の周りには、ほ場整備されたたくさんの水田があり、周りの山から流れてきた川は琵琶湖につながる田川に合流しています。

また、昔から水を確保するために、10か所以上のため池が作られていますが、どのため池も大きく深いため、近づくことは禁止されています。もう一つ田根川とよばれる川がありますが、この2つの川はコンクリートで囲まれた水路のようになっていて中に入ることができません。

子どもが気軽に入って生き物などをとることができるのは学校の周りの溝川です。今回調査をした学校の西側の溝川は、くみ上げられた地下水や近くにある野田池の水が混じった川で、田根川につながっています。流れのよどんだ部分には、ザリガニやドジョウがよく見られます。

2 1回目（5月11日） 高山キャンプ場 草野川の調査

4月末であったので、生き物はまだいないかなと不安な気持ちを持って「やまのこ体験学習」に先立ち、川調査を行いました。

この調査は、水生生物調べの基本を学ぶためで、本来の調査とは言えません。

予想したように、ザリガニなど生き物調べとなりました。そこで、4年生の調査はもっと小さな生き物をつかまえるので、川底などをザルで受けながら混ぜてみるとつかまえることができることを指導したところ、「小さいのが動いている。」「何これ？」など、いろいろな生き物を発見しました。

発見した驚きと興味を持って、高山キャンプ場の草野川での調査に取り組めました。

5月11日、調査当日の草野川の流れは速く、冷たい水でした。水は透き通って川底の様子もよく見え、上から見ただけでは水生生物はあまりないように思いました。

指導員の方にザルの使い方を教えていただき、石を動かしたり、底の土をくつけてみたりするとたくさんの生き物がいました。

屋内に入ってからは、採取してきた生物の見分け方をくわしく教えていただきました。

種類別に分けると、トビケラやカワゲラ、カゲロウ類が大変多く、草野川は「きれいな水」という判定でした。

やまのこ学習での調査の様子



～児童の感想～



きれいな川にすむ生物が多いので驚きました。

生物から川の水質が分かるのがすごいなあ。

3 2回目（6月18日） 田根小学校西側の川

やまのこ体験学習で教えていただいたことをもとに、学校の運動場の西側を流れる川の調査を行いました。

水は思ったより冷たく、流れもやや速かったので初めは驚いた様子でした。子どもたちが普段見ている川ですが、改めて水の中にいる生物を調べるのは新鮮な活動でした。

思っていたよりも水は透明で、少しでもたくさんの水生生物を探そうと、自分の役割に従って熱心に活動することができました。

運動場へ戻ってバットに生物を種類別に分け、長い時間水生生物を見ながら図鑑で名前を探すことができました。

子どもたちは予想以上にいろいろな水生生物がいたことに驚いていました。

調査の結果、水質としては「きれい」でした。

運動場西側の川調査の様子



～児童の感想～

高山のようにきれいな川にしたいと思いました。



パックテストで川の水をチェックしたら、少しよごれているようだった。

高山とちがつて、きれいな川にすむ生物がいなかつた。

4 まとめ

今回の水質調査や「やまのこ体験学習」を通して、川の中の生き物を調べて観察する体験をしました。これまで身近な小さな生き物に关心のなかった子どもたちが、楽しみながら環境について考えることができました。

採取した生物を興味深く図鑑で探し、名前を調べる姿から体験的な学習の大切さを感じました。

川によって水のきれいさが違うことは、何となくわかってはいても、すんでいる水生生物の種類の違いで、川の水のきれいさがわかるという体験は子どもたちにとって、新鮮でした。

これからも、生き物が安心してすめる川や、田根学区の自然を自分たちの手で守っていかなくてはならないという思いを、新たにしていくことができました。



この生物は、なんと
いう名前かな？

